

Maximum height 55m
Maximum weight 6,700kg

AT-550S

SKY STATION SERIES

スカイステーション AT-550S

最大地上高 55m/68m

最大積載荷重 6,700kg/1,500kg



HARADA SOGYO

SUPER



SPECIFICATIONS!

AT-550S

SKY STATION SERIES

その凄さは、スペックでわかる。

法面作業車「タダノ スカイステーションAT-550S」は、最大地上高55m、
最大積載荷重6,700kgと世界最大の高所作業車です。

さらにエクステンションジブ装着時には最大地上高68mと、より高い斜面にアプローチできます。
高所での斜面安定化工事や斜面調査などを従来工法に代わって効率よく、安全に行えます。

また高層ビル、ドーム競技場の建設工事やメンテナンスに、
そしてダム工事現場など、さまざまな工事で工法の革新をもたらします。
より速く、より確かに、より安く、さらに安全な現場がスカイステーションによって生まれます。

デッキ最大地上高	55m	68m
最大積載重量	6,700kg	1,500kg
デッキ寸法	6.7m×3m	2.8m×2m
最大作業半径	30m (35m [3,000kg積載時])	41m (44m [500kg積載時])

スカイステーションAT-550Sを使用することで 工法自体が変わり、さまざまなメリットが生まれます。

法面作業車「タダノ スカイステーションAT-550S」は、従来工法にプラスすることで改善するという考え方とは全く別のアプローチから誕生しました。

AT-550Sは、工法そのものを考え直し、より確かに、より速く、より安く、さらに安全な工事を実現します。

COST DOWN 工期の短縮、機械化などで工費を大幅に削減。

工費の削減

今までの斜面工事現場では、多くの高所作業者を必要としていました。しかも、熟練した労働者の恒常的な不足は年々、深刻さを増すばかりです。

法面作業車「スカイステーションAT-550S」は、岩盤削工等での機械化による作業効率の大幅な向上を達成しました。さらに、足場設置に必要なだったリース料、組み立て費用、クレーン作業費用、運搬費などの費用がほとんど不要になるとともに、高所作業者数を大幅に削減して労務費を減少させます。さらに、工期の短縮化は安全対策費の軽減をもたらし、トータルで工費の削減を実現します。

SPEEDY 従来工法と比較して約40%工期削減。

工期の短縮

従来の工法では、単管パイプ足場の設置や撤去作業に膨大な時間と労力を費やしていました。法面作業車「スカイステーションAT-550S」は、足場を設けることなく即座に工事に着手できます。災害復旧工事など緊急を要する工事には特に効果的です。しかも、最大作業半径が大きいので、危険な崩落現場の脇から大型デッキで安全に緊急対策工事が行えます。また、最大積載荷重は6.7トン。大型重機をも搭載でき、従来の高所作業による岩盤削工工事と比較して飛躍的な工期の短縮化を可能にしました。

SAFETY 飛躍的な安全性の向上。

安全性の向上



デッキ旋回により、どのような斜面にも的確にアプローチできます。

従来工法では、不安定な足場の上で長時間の過酷な作業が求められていました。

法面作業車「スカイステーションAT-550S」は、不安定な足場を使うことなく作業機械を搭載したまま、目的の斜面までダイレクトにアクセスできます。広いデッキは作業性も改善し、特に冬期には採暖室を設けることすら可能になり、安全かつ快適な作業環境で効率的な作業が行えます。

また、一般的に、従来工法では斜面上部より安定化工事を行っていました。しかしAT-550Sを使えば崩落しやすい危険な箇所から安定化工事に着手でき、工事期間中の危険性や事故も激減できると予想されています。



供用中の道路を閉鎖することなく工事を進められます。

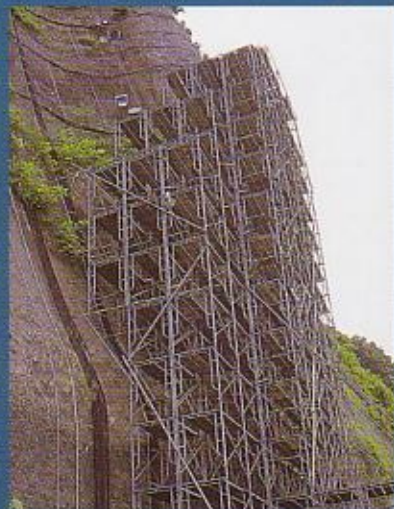


デッキ上の機械作業には制限があります。

AT-550Sで 現場が



従来の工法



単管パイプ足場工法



人力による岩盤削工

、変わる。
、変わる。

新



スケールの大きさだけにとどまらず、 今までと違う性能・機能に圧倒されます。

■デッキ

メインデッキは作業性・安全性を追及しました。デッキ先端は、拡張機能により1,000mmのストロークで3分割それぞれが独立して伸長します。

広いメインデッキには、パーカッション装置やその部材も余裕で搭載。メインデッキ、サブデッキともにデッキ上の操作盤で安全に操作することができます。また、360度連続旋回機能によって、どのような斜面にも的確にアプローチできます。



- メインデッキ外寸法/6,700mm×3,000mm (拡張機能により1,000mm伸縮)
- 旋回角度/360°連続 ●最大積載荷重/6,700kg
- 資材積み降ろし用カーゴクレーン (450kg吊り) 標準装備



- サブデッキ外寸法/2,800mm×2,000mm
- 旋回角度/360°連続 ●最大積載荷重/1,500kg

■ブーム

新六角形5段ブームの採用で持ち上げ性能を大幅に高めました。

ブーム背面には動力や資材圧送用のケーブルやパイプを通すガイドを設け、デッキ上での様々な作業を可能にしました。

- 起伏角度/—1.5°~83° 【背面ケーブルガイド】
- 長さ/15.1m~51.6m 電力ケーブル、コンクリート圧送ホース
- 旋回角度/360°連続 放水用ホース、油圧ケーブル、圧縮空気ホース

エクステンションジブ

新設計のエクステンションジブにより、さらに高く、さらに速くで安全作業ができるようになりました。また、エクステンションジブは55°の範囲で、無段階パワーチルトができ、オーバーハング斜面にも容易にアプローチできるようになりました。

■アウトリガ

作業に合わせて張り出し幅が4段階に選べるアウトリガ。

さらに剛性アップのためリアジャッキを追加して安定性を高めました。

■安全性・操作性

新開発のコンピューターによる安全制御装置-マルチディスプレイ型AMLとAMCの2系統により、安全を高い次元で確保します。

操作は、デッキ上の上部操作盤と下部キャリアのどちらからでも可能です。さらに音声メッセージにより、アプローチするターゲットから目を離すことなく操作できます。また、キャリア部にも音声メッセージを拡声し、キャリア周辺で働く作業員へ注意を促します。誤って急激なレバー操作をしても、滑らかに起動・停止する「緩起動・緩停止機能」と、ブーム伸縮と起伏にはストロークエンドでのショックを防止する装置も備えています。ブームの長さ、角度、作業半径に応じて起伏速度と旋回速度を自動的にコントロールする速度制御機能も装備して安全性を高めました。



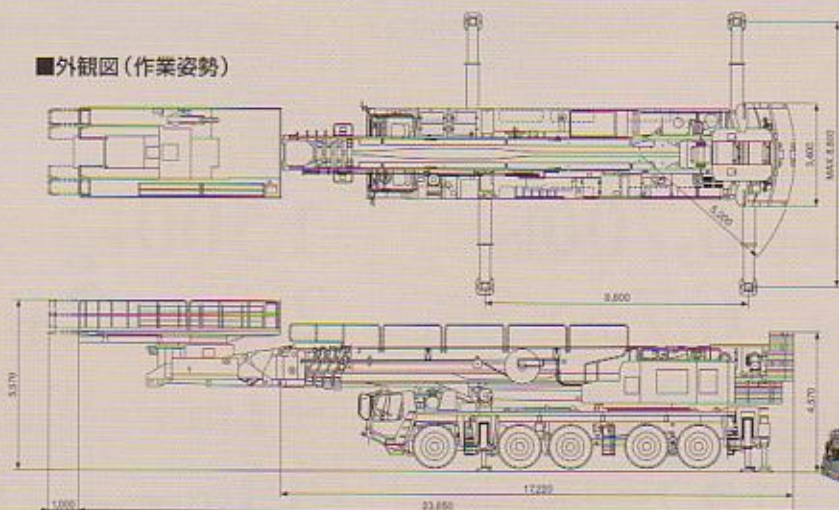
デッキ上の上部操作盤

■走行性能

メルセデス・ベンツ社製エンジンは最大出力503馬力と強力無比。

Hi・Lo切り替え付自動ロックアップ5速フルオートマチックミッションや油圧式ハイドロニューマチックサスペンションと8輪駆動との組合せで、超大型キャリアとしては驚異的な走りを実現しました。さらに、4方式のステアリング方式でクラス最小の小回り性と操縦性で設置場所を選びません。

■外観図 (作業姿勢)



AT-550S

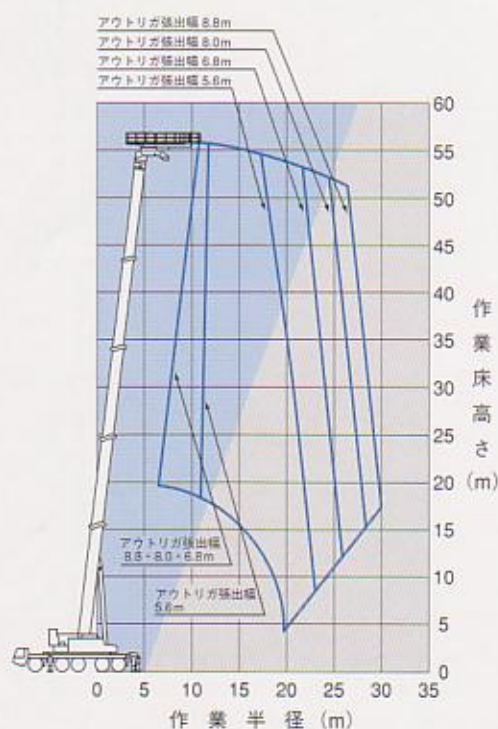
主要諸元

		メインデッキ	サブデッキ
デッキ及びデッキ装置	最大積載荷重	6,700kg	1,500kg
	最大地上高	55m (6,700kg積載時)	68m (1,500kg積載時)
	最大作業半径	30m (6,700kg積載時)・35m (3,000kg積載時)	41m (1,500kg積載時)・44m (500kg積載時)
	外寸法	6.7m×3.0m×1.0m (長さ×幅×高さ)	2.8m×2.0m×1.0m (長さ×幅×高さ)
	旋回角度	360°連続 (スイッチ切換えにより±60°に規制可能)	
	チルト		メインブームに対して5°～60°パワーチルト
	自動水平装置	水平検出器+電磁比例バルブ+複動油圧シリンダ	
ブーム	旋回装置	油圧モータ駆動ウォーム歯車減速式	
	その他	カーゴクレーン (450kg×3.6m) 標準装備 デッキ拡張装置 (3分割・各1m)	
	起伏角度	−1.5°～83°	
	長さ	15.1m～51.6m	
	旋回角度	360°連続	
アウトリガ	形式	箱型5段全油圧順次伸縮式	
	全油圧式H型、スライド・ジャッキ各個操作装置付 張出幅:8.8m、8.0m、6.8m、5.6m		
操作装置	デッキ部	ブーム旋回、ブーム伸縮、ブーム起伏、デッキ旋回、非常用ポンプ、エンジン始動・停止、緊急停止	
	フレーム部	ブーム旋回、ブーム伸縮、ブーム起伏、アクセル、エンジン始動・停止、アウトリガ張出・格納	
安全装置		過負荷防止装置、音声警報装置、フットスイッチ、操作レバーガイド、非常用ポンプ、緊急停止装置、ジャッキインターロック装置、ブームインターロック装置、アウトリガインジケータ、油圧シリンダロック装置、油圧安全弁、水準器	

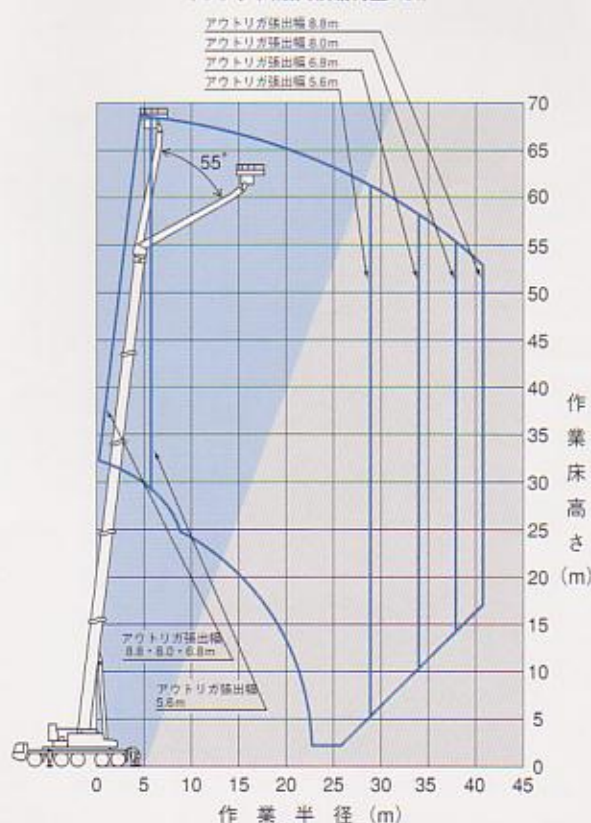
作業範囲図

1.作業範囲は、リヤジャッキ使用、カウンタウェイト48t装着時に於ける水平堅土上の値です。2.下図はブームのたわみを含んでいません。
3.本作業範囲図は風による影響を含んでいません。

メインデッキ (最大積載荷重6.7t)



サブデッキ (最大積載荷重1.5t)



1.本機は、公道を走行する場合には、旋回体及びブームを別送し、台車のみで走行しなければなりません。2.道路法による基本通行条件のC条件適合車です。

※本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。



株式会社ハラダ総業

本社 〒003-0874 札幌市白石区米里4条3丁目1番30号 ☎(011) 874-6872



TADANO

株式会社 タダノ

本社 〒761-0185 高松市新田町甲34

市場開発部 〒130-0014 東京都墨田区亀沢2丁目4番12号 ☎(03) 3621-7738

☎(087) 839-5555